

平成 30 年度第 10 回千曲市教育委員会定例会会議録(要約)

1. 日 時

平成 31 年(2019)1 月 30 日(水)午前 8 時 57 分から午前 10 時 26 分

2. 場 所

千曲市役所戸倉庁舎 会議室 2

3. 会議日程

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 提出議案
4. 報告事項
5. その他
6. 閉会

4. 議 題

○議 案

議案第 35 号 千曲市少年育成センター補導委員の委嘱について

○報 告

報告第 45 号 千曲市少年育成センター補導委員の退任について

報告第 46 号 教育長、部・課長報告について

報告第 47 号 行事の共催・後援について

報告第 48 号 2 月の各課の行事予定について

5. その他

- (1) 次回定例会の開催について
- (2) その他

6. 出席者

○委 員

赤地憲一教育長 若林由美子職務代理者 武井音兵衛委員
坂本孝夫委員 中村洋一委員

○教育委員会担当部局

上條教育部長、米澤教育指導幹、青木教育指導幹、滝沢教育総務課長、
北村生涯学習課長、永田 聡 振興課長、中村第 1 学校給食センター所長、青木第 2 学校給食センター所長、
田島歴史文化財センター所長、竹内文化課長、滝沢総務係長、西澤総務係主査

(教育部長)

おはようございます。定刻前ですがお揃いですので、第 10 回の定例教育委員会を開催いたします。お忙しい中ありがとうございます。新年が明けたと思いましたが 1 カ月が終わろうとしていまして、今年もどうぞ、よろしく願いいたします。元旦につきましては好天に恵まれ、穏やかな新年を迎えられたと思います。更埴地区と戸倉地区で元旦マラソンが行われまして、更埴地区に顔を出させていただきましたが、家族連れが多く親子で走る姿が印象的でした。健康で平和な 1 年になればと思う次第です。本日の新聞にも杏寿荘でインフルエンザの施設内感染があったという事で、全国的にインフルエンザが猛威を振る

ってしまして、市内小中学校でも幾つかの学校では、学級閉鎖となっていて、まん延が心配される
ところ。そんな中で、教育委員会としましては、児童・生徒の保護者あてに、子ども達の健康状態に
ついての細心の注意やマスクの携行、うがい手洗いの実施についてをお願いをいたしました。具合が悪い
場合は、早目に受診をしていただきたい旨も含め、インフルエンザの予防と対応について通知をしたところ
です。今後とも各学校の状況等把握しながら、注意していきたいと思っています。後程、説明もありま
すが、今週末には宇和島市の児童たちが千曲市を訪問し交流が行われます。インフルエンザが心配ですし、事
故の無い様に細心の注意を払いたいと思います。この4月1日からの学校敷地内全面禁煙を行うとい
う事で、1月24日の市長記者会見で報道発表を行ったところです。2学期から建物内での全面禁煙を実
施してまして、喫煙される職員向けの健康講座も開催し、準備を進めています。これから、市民への
周知を行っていきませんが、特に体育館等を使用する各種団体やスポーツクラブへの周知など必要となりま
すので、市報・ホームページ・告知貼り紙等様々な方法で、周知していきたいと思っています。

それでは、教育長さんにごあいさつをいただき、議事の進行もお願いいたします。

(教育長)

皆さま改めて、おはようございます。ただ今、部長さんからお話がありました様に、平成31年明け
まして、早くも1カ月でございます。寒さも大寒が過ぎた頃から、本格的になってきましたこの頃です。
皆さまにはこの1年、どうぞ、よろしく願いいたします。子ども達は年末年始の間、大きな事故等も
無く元気に3学期を迎えておりますが、ただ今のお話の様に、ここに来てインフルエンザに罹患する児童・生
徒が目立っております。先日も長野県内の小学生が、インフルエンザ脳症で亡くなるという衝撃が走りまし
た。学校におきまして医療機関等への早期対応をお願いしたところです。

年の初めですので所感を申し上げて、ご挨拶に代えさせていただきます。今年の元旦の各紙は、AI
とか ICT とか科学技術と人間を扱うものが目立ちました。その中で、はこだて未来大学の松原仁教授
が AI との共存の道を模索しようと、将棋はその良い意味で想定実験という一文が目を引きました。例
えば、難病の治療法を AI に提示を求めると、難易度の高い手術を平気で提示するという事です。しか
し、実際に手術をする人間というのは、難易度の高い手術にはプレッシャーを感じますし、AI にはプレッシャーは
ありませんので、最上の手術を提示するが、現実的にはリスクが大きくなるという、こんな趣旨でした。これ
に対しては、人間として納得する判断をする必要がある。この意味で、藤井聡太7段は、AI から得ら
れる知識を上手く活かしながら、自分の頭で短期間で実力を付けたのだと、こんな風に結んでいまし
て、AI との共存の道を模索するという一文でした。

以上、所感を申し上げて、本日、第10回の定例会を開会させていただきます。

なお、宮入委員さん、ご都合により欠席でございます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

(教育総務課総務係長)

ー差し替え資料等について、説明ー

議案第35号 千曲市少年育成センター補導委員の委嘱について

(生涯学習課長より説明)

(教育長)

皆さん、お認めいただけますか。ありがとうございます。

(原案のとおり)

報告事項に移ります。

報告第45号 千曲市少年育成センター補導委員の退任について

(生涯学習課長より説明)

(教育長)

ご質問等は、いかがでしょうか。

報告第 46 号 教育長、部・課長報告について

(教育長から説明。途中、夏休み期間のあり方の市の方針について、教育指導幹に説明を求める。)

(教育指導幹)

県からこの様な方針がでる前に、法律で長期休業は市町村教育委員会で決める事になっています。夏休みを延長するにはメリットもありまして、子ども達は休みですが保護者はお勤めですので、子ども達の居場所の問題。それから、授業時数の確保の問題については、日々の日課が詰まって毎日 6 時間授業にもなる事も考えられます。夏休みに自然体験や校外学習を自らが課題をもって取り組んでもらいたいのですが、そういう講座等の企画が不十分である事等で、市教委としましては、31 年度は天皇陛下退位即位に関わりまして、例年より 3 日間休みが増えていますので、来年度は通常並みで考えています。子ども達の居場所等、市教委と学校だけで延長の協議を行う訳にもいきませんので、コミュニティスクール運営委員等や保護者の意見をお聞きしながら、1 年間検討して慌てず進めていきたいと思えます。

(引き続き、教育長から説明。)

(教育長)

以上ですが、ご質問等ございますか。

- 自転車利用に関する県条例で、自転車保険の加入が義務付けられるという事で、対象の児童生徒全員なのか、保険料はどの様に徴収するのか、学校毎なのか市教委として負担するのか、お聞かせいただきたい。

(教育長)

基本的には、議会での成立を待つて具体的に考えようという事で、まだ詳細につきましては、決まっていない様に思いますが、教育指導幹いかがでしょうか。

(教育指導幹)

この条例が施行されるのが、平成 31 年 10 月 1 日と聞いております。そこから、子ども達の安全等について、きちんと決めなければと思っています。例年 4 月に長野県 PTA 連合会小中学生総合保障制度という保険加入申し込みが、全ての家庭に配布されます。この保険の中に自転車保険も含まれており、保護者の皆さんは任意により加入されています。学校管理下での自転車は、登下校で自転車を使う生徒や部活動で自転車を使う生徒です。それ以外は、各家庭でという事になりますが、その辺の難しさも含めて、今後、検討していく事になります。ちなみに、これは抽出調査結果ですが、平成 30 年 5 月時点の市内小中学生の加入状況で、ある小学校では 35%、中学校では 53%が賠償責任保障に加入しています。中学校では部活動をやっている生徒には、加入する様に指導を行っています。また、様々な加入の仕方があって、自転車を購入した際に加入する場合や親の自動車保険に附随している場合など、把握する事が難しく、色々と研究しながら施行に向けて検討します。

- 今、県 PTA にも関わっていただきましたのでお話しします。保険は事故が少なければ余剰金が繰り越され、その額が割と多くなってきている実態を知っています。全員義務となった時のやり繰りなど中々難しい問題を含んでいると思いますので、慎重に検討いただきたいと思えます。

(教育長)

そうした事情も踏まえて、検討させていただきます。他はいかがでしょう。

- 子ども達の登下校など学年が上がると共に、交通法規など順法精神に欠ける生徒が多く見受けられますので、保険も必要でしょうが、そういう事を認知させる様に考えなければと思います。

(教育長)

他はいかがでしょうか。

- 県教委との教育行政懇談会に千曲市から大事な2点をあげていただき、ありがとうございました。夏休み期間のあり方は、ここ数年暑い夏が続いている事から、その対策なのでしょうが、教育指導幹のお話の様に、「子ども達の居場所」など受け皿ができていない現状ですので、期間のあり方の検討と並行して、コミュニティスクールや地域の受け皿を開拓し増やす事が必要と考えます。

(教育長)

英語専科教員について、教育指導幹に説明をお願いします。

(教育指導幹)

千曲市は、平成30年度に県下20名の内1名の配置をいただき、平成31年度についても県下20名という事は明らかになっています。文部科学省では、全国で1,000名であるという事までは分かっていますが、2022年の完全実施に一体どうなるのか全く不明でありまして、恐らく、文部科学省はそこまで1,000名規模でやるとは思いますが、同数位が長野県にくるとは思います。臨時的な加配なのか、定数的に認めるのか明らかにされていませんので、理科専科の様に定数として認められればと思います。英語専科教員は本誌でもとても良くやっただき、とても助かっているところです。

(教育長)

他はいかがでしょうか。

(部・課長等報告を教育総務課長、生涯学習課長から説明)

(教育長)

成人式は委員の皆さんに出席いただきましたので、ご感想等ありましたらお願いいたします。

- 毎年、同じ事を申し上げますが、ビンゴゲームなどに経費で景品を用意していますが、記念講演会とコンサートとかも良いのではと思います。実行委員の方々が一生涯準備された事は、良く分かりました。
- 成人式というのは、通過儀礼、インシジョンというだけでなく、冠婚葬祭の最初の冠にあたり、最も格式の高い場だと思っています。そういう場を厳粛に滞りなく開催していただきました生涯学習課の皆さんには、感謝を申し上げます。ありがとうございました。
3点ほど伺いますが、出席率について、3年ほど前に千葉県浦安市が「デイズニード」で成人式を行った時が77%だったと記憶していますが、これと比較しても非常に高いと思います。2点目として、振袖は若い女性の礼服ですが、この時しか振袖を見る事が無いので、この日は目を和ましていただいています。昨今の日本人の和服離れが言われていますので、成人式の見方を変えれば若者に和服の良さや和服の文化をアピールする良い機会だと思います。もう1点は、昨年民法の改正があって、民法第4条で「年齢18歳をもって成年とする」と改正されました。この施行は2022年4月1日からで、そうすると2023年の成人式というのは、18~20歳が皆一緒に出る事となるのか、国全体の問題なので、いろいろ検討されると思いますが、生涯学習課としては、そんな事が確実に控えていますので、千曲市としてはその辺のところを面白く企画できる様に、片隅に置いていただければと思います。

(教育長)

通過儀礼の第一歩を7割という出席率で開催できた事の評価でした。最後の件の18歳の選挙権とか成人、もう既に何かお考えでしたら、どうでしょうか。

(生涯学習課長)

公民館の主事さん方とも話はしていますが、現実的に3学年一緒にやるとか、キャパの問題もありますので日を変えて別々にするとか、正直、煮詰まった議論はしておりません。

(引き続き、スポーツ振興課長から説明。)

(教育長)

元旦マラソンについて、委員さん、何かご感想があればお願いします。

- とても良い天気で、私も区の仕事で失礼してしまいましたが、走り終わった皆さんが更科神社にお詣りに来て、とても良い一日の始まりだったとおっしゃっていました。

(引き続き、文化課長、歴史文化財センター所長、第1学校給食センター所長、第2学校給食センター所長から説明。)

(教育長)

委員の皆さん、ご質問等いかがでしょうか。

- 日本遺産の件で、伝承とか風習を踏まえてストーリーを演出して、有形あるいは無形の文化財をパッケージしていく作業というのは、非常にハードルが高い困難な作業だと思います。それを頑張ってくださいまして、感謝申し上げます。今まで中々申請が通過しなかったという事で、3点ほどお話しします。先ず1点目は、ストーリーというものが、果たして万人に分かり易く、発信力のあるものかどうか。2点目として、点在する遺産を統合したうえで面としてアピールしていく事、これは困難で難易度の高い作業だと思いますが中々イメージし難い、どう乗り越えていこうとしたのでしょうか。3点目として、将来像、ビジョンを地域づくりと統合していく、地域づくりに活用していく、その点が従来弱かったと思われました。今回、近畿日本ツリストのアドバイスを得て、その辺を検討し解決して申請したのか、裏話をお聞かせいただきたい。

(歴史文化財センター所長)

1点目のストーリーが分かり易く発信力があるかという事ですが、非常に悩みまして、過去2回は「月の都」という事でストーリーを考え申請しましたが、しかしながら審査員からは、月に関する文化財が関連物産という事で見当たらないという指摘を受け、申請案はもう一度「月」という事で、近畿日本ツリストと打合せしストーリーを書きましたが、最終調整で厳しい評価をいただきまして、1月にストーリーを全面的に変えまして、「更科と埴科」という言葉を入れ、「ずく」という方言で「根気」や「やる気」を意味する言葉も使い、4つの絶景を作り出したという事で、万人に分かり易くストーリーを作り上げました。

2つ目の文化財を統合し面としてアピールしているかという事を重視し、今までは姨捨地区周辺だけでしたが、千曲市全体という事で、森將軍塚古墳周辺を古代の王が作り出した絶景、都人が作り出した伝説の絶景という事で棄老伝説の姨捨山の絶景、芭蕉が詠んだ月の絶景、日本3大車窓という事で姨捨駅から見た絶景、この4つの絶景を新しくストーリーの中に組み入れて申請しました。発信力は過去のものに比べて有るという事で、万人にも分かる様に申請の前日徹夜して、作り上げました。

最後の将来像という事ですが、日本遺産はストーリーと地域活性化計画が二本立てになっているもので、地域活性化計画について、特に近畿日本ツリストからアドバイスをいただき、インバウンドとか観光面を重視して、2020年度の刈刈ッくまでに100程の日本遺産を認定していく中に、観光面に精通していますので、色々な活性化計画を作ってくださいまして、それを基に協議の上作成し、活性化計画は評価をいただ

いています。2月に審査が行われ発表は来年度5月という事で、スリーを審査員にどの様に認めてもらえるのか、という所まで来ていますので、今回は、前回から大幅に変えて特に苦労しました。

- 所長さんもお感じだとは思いますが、点在する遺産を面として統合し、どうやってアピールするのかイメージし辛いところだと思います。具体的にと言われても非常に難しく難易度の高いものだと思います。そもそも日本遺産というのは、10年ほど前に政府が「クールジャパン」と言っていました。「クールジャパン」というのは、日本を売って行こうという意味で、「クール」という意味は「格好良い」や「お洒落」で、そういう戦略を立てた中の文化の一面であるという点を忘れてはいけない訳で、大衆文化や遊びや食文化、あるいは、パッションや景観等を含めてちりばめていかないと、中々、海外や万人から見て「クール」と感じられないと思いますので、そここのところが、点を面として統合していく接着剤となると思いますので、よろしくお願いします。

(教育長)

他にはいかがでしょうか。

- 文化課自主事業の「親子 de クラシック」を今年も聞かせていただきました。小さい子ども達にヴァイオリンの代表的な曲を演奏していただき、先生方の演奏も素晴らしく良い企画だと思います。幼い子ども達が生のクラシックに浸れるチャンスは少ないので、継続をお願いしたいと思います。

(文化課長)

毎年実施して軌道に乗ってきていますので、これからも良い方向に考えながら、続けていきたいと思っています。

(教育長)

他にはいかがでしょうか。

- 第2学校給食センターの会議内容で11月残量調査結果と記載されていますが、毎月調査は行われているのでしょうか。

(第2学校給食センター所長)

6月と11月に期間を設けて県に報告している調査があり、その調査結果となります。

- これは、第1でも実施されているのでしょうか。

(第1学校給食センター所長)

はい、実施しています。

- この調査は、残量がどれくらいという調査だけなののでしょうか。例えば、1か月間の調査とかその方法はどんな形なののでしょうか。

(第2学校給食センター所長)

調査期間は1週間です。正味5日間、1日当たりの残量を報告する内容です。

- 日毎ですから、その日のメニューにより残量の変化も把握できるという事ですね。

(第1学校給食センター所長)

はい。

- クラス毎に把握されていますか。

(第2 学校給食センター所長)

学校毎に数字を報告いただいています。

- 子ども達が残すメニューも把握できる調査だとすれば、その結果を基にメニューの検討もされているのでしょうか。

(第2 学校給食センター所長)

県への報告は年 2 回ですが、残量調査事態は日々行っておりまして、メニューへの反映も栄養士を中心に行っています。

- 手間を掛けての調査ですから、結果を基に対策をとっていただいているという事が分かりました。ありがとうございました。

(教育長)

他はいかがでしょうか。

- 子ども達と給食をいただく機会があり、おかずを配膳される時に量を調整しながら配る姿を見ると、クラス毎に努力をしていると感じました。

(教育長)

学校現場に詳しい、教育指導幹にコメントいただけますでしょうか。

(教育指導幹)

学級担任は、残量があると給食担当者から指導がありますので、なるべく残量を出さないという考えはあります。食べられない場合は、手を付ける前に分けたり、配膳後に残ったものはおかわりを促したりしています。一方、保護者からは、「配膳されたものは児童の判断で残すことも大切にしてもらいたい。」という意見もありますが、難しい内容です。

- 中学生の娘の愚痴を聞くと、「押し付ける子」や「押し付けられる子」がいる。これは、クラスで残さない様にという事が行き過ぎてしまうと、「押し付ける子」や「押し付けられる子」が出てくると、これは大変難しいと感じています。指導幹のお話の様に、配膳された分量を中心に個人の体調の問題などもありますので、食べる事が苦痛になったりする事等が心配されますので、配慮いただければと思います。

(教育長)

十分に予測できる事と思いますので、高ずればいじめにも発展しますので、その点もご配慮願います。

報告第 47 号 行事の共催・後援について

(教育総務課総務係長から説明)

報告第 48 号 2 月の各課の行事予定について

(教育総務課総務係長から説明。途中、平成 30 年度 姉妹都市児童交流事業概要について、資料により説明。引き続き、スポーツ振興課長、生涯学習課長、文化課長、歴史文化財センター所長、第 1 学校給食センター所長から説明)

(教育長)

よろしいでしょうか。

次回定例会の開催について

(教育総務課総務係長から説明)

その他のその他について

(教育総務課長から部活動生徒の保険について、説明)

(教育総務課長から第二次千曲市教育振興基本計画(案)並びに千曲っ子教育ビジョン(案)に関するパブリックコメントの募集について、説明)

(教育総務課長から小中学校へのエアコン設置工事の進捗状況及び今後の予定について、説明)

(教育総務課長から戸倉上山田中学校改築工事外構の二期工事について、説明)

(教育総務課長から学校敷地内での全面禁煙実施について、説明)

(教育総務課長から平成30年度末・31年度当初の学校関係諸行事について、説明)

(教育総務課総務係長から平成30年度末・31年度当初の学校関係諸行事について、補足説明)

(第1学校給食センター所長から学校給食費徴収管理業務改善事業の概要等について、説明)

(教育長)

徴収状況の中の不能欠損額は、どんな理由からかご説明願います。

(第1学校給食センター所長)

2年間で時効を迎えてしまうためです。

(教育長)

それでは、ご熱心にご協議をいただき、ありがとうございました。部長さんにお返しします。

(教育部長)

長時間に渡り慎重審議、また、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。1月20日が大寒という事で、一番寒い時期でインフルエンザも流行っていますので、委員の皆さまには、益々のご健勝をお祈り申し上げ、定例会をとして参りたいと思います。本日は、ありがとうございました。